

# アサガオの育て方

## アサガオの主な種類

### 曬白アサガオ

花びらの中央の「陽」と呼ばれる部分と花びらの縁が白いタイプ。色彩が明るいので、フェンスなどに絡ませるととても鮮やか。



### 宿根アサガオ

タネのできない多年草。夜が長くなると花芽ができる性質があるので、秋が深まると咲き始めます。



### 桔梗咲きアサガオ

キキョウの花に似た尖った小さめの花びらが特徴。花色は紫、白、赤など。一重と八重のタイプがあります。



### マルバアサガオ

丸葉と名付けられているように、葉が円形になっているのが特徴。熱帯アメリカ原産の植物で、一般的なアサガオの近縁種になります。

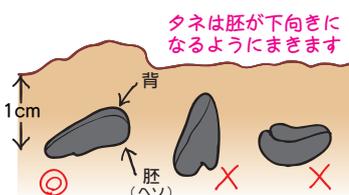


## タネまき～苗づくり

発芽適温が20～25度と高いので、タネまきの適期は5月上旬～中旬です。種皮が硬いので、まく前にタネの背の部分をヤスリやサンドペーパーで少しだけ傷つけたり、一晩水に浸し吸水させ、よく水を吸って膨らんだタネを選ぶようにしましょう。

苗づくりは、作りたい苗の数だけビニールポットを用意し、それぞれ用土を入れ1ポットにつき1粒ずつ中央に置き、タネが隠れる程度に指で押し込みます。大きめの受皿を用意して、そこにビニールポットを並べ、屋外のやわらかい日差しが当たる軒下などに置きます。

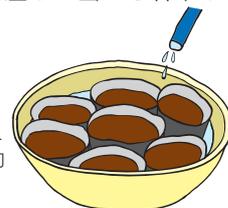
4日から1週間で発芽します。双葉が開いたら受皿を外し、1日1回の水やりに切り替え、日当たりの良い場所に移します。



タネは胚が下向きになるようにまぎます

指で軽く押し込むか、タネの上に1cmくらい土をかぶせる程度にします。

水やりは受皿に水を張り、ポットの底から水を吸わせます。水は切らさないように。



## 苗の植え付け

双葉の間から本葉が出始め、本葉が2～3枚になったら苗づくりは完了です。庭か鉢へ移植します。苗をポットから抜く時は、根鉢を崩さないよう丁寧に。鉢であんどん仕立てで栽培する場合は、6～7号鉢に培養土を入れ中央に1株植え付け支柱を立てます。また、地植えにしてフェンスの近くに植えて絡ませる場合は、庭土を深さ15cmほど耕し、元肥として有機肥料を混ぜ、15～20cm間隔で1株ずつ植えていきます。できるだけ日当たりの良い場所を選びましょう。

## 植え付け後の管理

●置き場所…朝日が良く当たる東向きの方が花付きが良くなります。夜間に玄関の照明や街路灯の光が当たる場所では、「つるは良く伸びるけど、花がいっこうに咲かない」ということにもなるので、できるだけ夜間照明のない場所を選びましょう。

●水やり……毎朝たっぷりと与えます。夕方になると、夜の間につるが伸び過ぎてしまうことがあります。花を美しく見せるには、葉やつるが繁生していない方が見映えが良いので、必ず朝のうちに与えましょう。

●肥料……アサガオは長期間に渡ってつるを伸ばし、花を付け続けるため、肥料を切らさないようにするのが大切。肥料は植え付け後2週間くらいしたら追肥をします。鉢植えの場合、月1回の緩効性の固形肥料か週1回の液体肥料を与えましょう。



# 花後の採種とタネの保存

タネの採種は秋以降に咲いた花から採種するのがおすすめ。開花後1カ月半ぐらいで果実が茶色になり採種可能になります。1株につき3回程度に分けて採種するようにしましょう。

採りたての果実は直射日光の当たらない涼しい場所に置いて自然乾燥させ、さく果をつぶして中のタネを取り出します。保存はビンやタッパーなどの密閉容器に入れ、低温で湿度の低い場所で保管します。(家庭なら冷蔵庫の野菜室が最適！)

アサガオのタネは適切な保存方法で管理されていれば2～3年は大丈夫ですが、古くなるとどうしても発芽率が悪くなるので、できれば翌年中にまき、再び採種するようにしましょう。

一旦保存したらなるべく開封しないこと!



## 和にも洋にも…仕立て方は好み次第

### あんどん仕立て



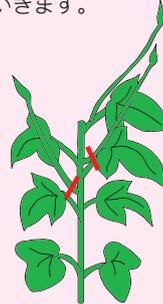
### ①摘芯を行う

双葉の次に出てくる葉を「本葉」と呼びます。本葉が8枚のときにまず最初の作業、「摘芯」を行います。下から数えて5枚目の本葉の上で先端をちょん切ります(この作業が摘芯)。つるがたくさん出た場合、上に近い部分から出た3本(イラストの丸印)を残し、あとは切り落とします。



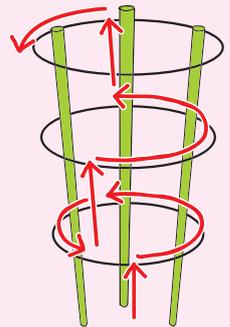
### ②つるを整理する

残したつるが20cmくらいに伸びてきたら、一番つぼみつきの良いつるを1本残して残りを根元から切り、残したつるを支柱に巻きつけていきます。

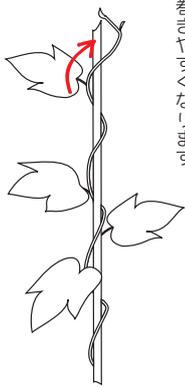


### ③支柱に絡ませる

支柱に伸びてきたツルを時計の針と逆方向に3つの輪に順次巻きつけていきます。



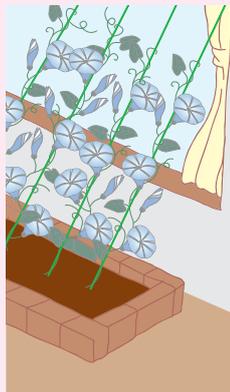
### 基本的なつるの巻き方



アサガオのつるを誘引する場合には、最も大切なのは「巻く方向」です。つるの根元から上に向かって「反時計回り(左巻き)」になるように巻いていきます。反対に巻くとすぐにほどけてしまうので注意!また、つるを巻く日は水やりを控え、つるをちよつとなびた状態にしておくこと巻きやすくなります。

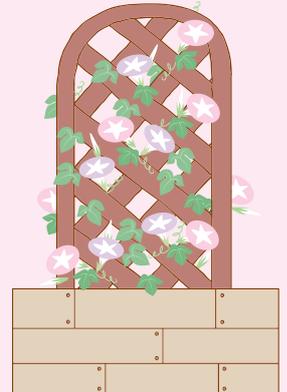
### 花すだれ

窓を覆うようにつるを誘引させて、花すだれを作ってみてはいかがでしょうか? ヒモなどで地面と窓の上部をつなぎ、ヒモ1本につき1苗ずつ植え、後は徐々に巻き付けていだけ。アサガオの葉は比較的薄いので、真夏の強い日差しをほど良く和らげられます。



### トレリス仕立て

プランターとトレリスを使って洋風に仕立てるのも素敵です。65cmプランターなら3苗を植えて、トレリスに絡ませていきます。最初は上の方向へ誘引し、頂上まで達したら今度は下方向へ。途中わき芽が伸びてきたら横方向へも誘引し、全体のバランスを見ながら葉や花がばらつかないようにします。



禁複製



アプリ限定クーポンでお得にお買物!!

# アヤハディオアプリ 会員募集中!



アヤカ  
ポイントも  
貯まる!



アプリ  
ダウンロードは  
こちら▶▶



Download on the  
App Store



ANDROID APP ON  
Google play

